

平成23年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）



平成23年11月11日

上場会社名 株式会社 東京ソワール 上場取引所 東  
 コード番号 8040 URL http://www.soir.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萩原 富雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 幸三 (TEL) 03(5474)6617  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年12月期第3四半期の業績（平成23年1月1日～平成23年9月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年12月期第3四半期	13,326	1.3	847	6.6	927	7.7	477	△21.0
22年12月期第3四半期	13,150	2.0	795	—	860	—	603	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年12月期第3四半期	25.82	—
22年12月期第3四半期	32.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年12月期第3四半期	16,565	11,247	67.9	611.58
22年12月期	16,219	11,034	68.0	594.54

(参考)自己資本 23年12月期第3四半期 11,247百万円 22年12月期 11,034百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年12月期	—	3.00	—	5.00	8.00
23年12月期	—	4.00	—	—	—
23年12月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年12月期の業績予想（平成23年1月1日～平成23年12月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	0.1	500	△2.7	600	△1.8	300	△32.4	16.23

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年12月期3Q	19,300,000株	22年12月期	19,300,000株
23年12月期3Q	909,142株	22年12月期	739,739株
23年12月期3Q	18,481,250株	22年12月期3Q	18,562,661株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績見通しに関する事項は、【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	5
3. 四半期財務諸表.....	6
(1) 四半期貸借対照表.....	6
(2) 四半期損益計算書.....	8
【第3四半期累計期間】.....	8
【第3四半期会計期間】.....	9
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成23年1月1日～平成23年9月30日)における日本経済は、新興国の経済成長を背景とした輸出が比較的好調に推移しておりましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害や電力の総量規制は、企業の生産活動に多大な影響を及ぼしました。その後は復興需要の高まりとともに景気持ち直しの動きも見られましたが、欧州の債務危機や円高の進行などの影響も加わり、先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましても、震災に伴う計画停電や自粛ムードが消費者マインドの著しい低下を招き、一部クールビズ関連衣料は好調に推移しましたものの、台風による豪雨被害などの天候不順も加わり、総じて厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況のなかで当社は、引き続きTV通販やネット販売など、新しいチャンネルへの取り組みを強化いたしました。一方では、お取引先との販売促進企画やコラボレーション企画を推進するとともに、「自主販売店」、「当社独占店」、「競合店」など、販売形態別の特性に合った展開ブランド及び型数の運用を検証するなど効率化を推進しました。またアウトレット店舗の常設化を通して商品回転率を高めることで、既存売り場に鮮度の高い商品を投入するとともに、震災以降はブラックフォーマルの需要に応えた商品準備に努めるなど、レディスフォーマルウェアのトップメーカーとしての責任を果たし、お客様との「絆」を大切にされた接客を心掛けてまいりました。

商品政策面では、汎用性を高めたデザインや単品コーディネート企画を充実させるとともに、清涼感ある細や接触冷感、ウォッシュャブルなどの機能性素材を提案しブラックフォーマルの販売を推進しましたが、カラーフォーマルの販売はイベントや祝賀行事の自粛ムードのなか、厳しい状況が継続いたしました。

この結果、商品別の売上高はカラーフォーマルが21億58百万円(前年同期比10.2%減)、アクセサリ類が22億57百万円(同1.4%減)となりましたが、ブラックフォーマルが89億10百万円(同5.3%増)となりましたことから、当第3四半期累計期間の売上高は133億26百万円(同1.3%増)となりました。

利益面では、中国の生産拠点での人件費上昇が小幅に止まり、ベトナムでの生産体制を強化するなど引き続き原価低減に努めましたことから、返品調整引当金は0.2ポイントアップしたものの、売上総利益率は前年同期比0.1ポイントアップの49.9%となりました。販売費及び一般管理費は、支払手数料、荷造運賃及び賃借料などの削減を行いました。前期から実施していた人件費カット分を賞与で還元したことなどから全体では前年同期比0.8%増となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、営業利益は8億47百万円(前年同期比6.6%増)、経常利益は9億27百万円(同7.7%増)となりました。また資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額22百万円や固定資産除却損20百万円及び東日本大震災による損失17百万円などの特別損失60百万円を計上しましたことから、四半期純利益は4億77百万円(前年同期比21.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は165億65百万円となり、前期末に比べて3億46百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少4億79百万円等があったものの売上債権の増加7億40百万円や棚卸資産の増加2億87百万円等によるものであります。

負債は、前期末に比べて1億33百万円増加し53億17百万円となりました。これは主に、その他の流動負債の減少1億83百万円等があったものの未払法人税等の増加2億82百万円によるものであります。

純資産は、前期末に比べて2億12百万円増加し112億47百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少65百万円等があったものの利益剰余金の増加3億10百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）における残高は、前事業年度末に比べて、4億79百万円減少し13億79百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億61百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益8億66百万円等があったものの、売上債権の増加7億40百万円やたな卸資産の増加2億87百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1億14百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出1億3百万円や投資有価証券の取得による支出11百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は2億2百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1億61百万円や自己株式の取得による支出32百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第3四半期累計の業績をふまえ、平成23年7月20日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました平成23年12月期の業績予想を修正いたします。

震災以降厚みを増していたブラックフォーマルの取引先店頭在庫は、第4四半期に適正な水準に戻す計画であるものの、当初想定していた原価の上昇が見込みを下回る予定であることから、下記のとおり修正いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	17,000	450	550	250	13.49
今回修正予想 (B)	17,000	500	600	300	16.23
増減額 (B - A)	—	50	50	50	—
増減率 (%)	—	11.1	9.1	20.0	—
前期実績	16,984	513	611	443	23.89

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### (棚卸資産の評価方法)

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### (繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況について著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①会計基準等の改正に伴う変更

##### (資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ1,885千円、税引前四半期純利益は24,406千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は36,979千円であります。

#### ②表示方法の変更

##### (四半期損益計算書関係)

前第3四半期会計期間において、営業外費用の「その他」に含めていた「支払手数料」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第3四半期会計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「支払手数料」は2,413千円であります。

- (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,379,150	1,858,354
受取手形及び売掛金	4,180,629	3,439,934
商品及び製品	3,710,736	3,371,402
仕掛品	139,693	190,718
原材料	3,975	5,118
その他	266,391	360,719
貸倒引当金	△7,549	△3,921
流動資産合計	9,673,028	9,222,326
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,814	1,987,814
その他(純額)	1,179,665	1,100,418
有形固定資産合計	3,167,479	3,088,232
無形固定資産		
	38,318	34,551
投資その他の資産		
投資有価証券	1,551,651	1,644,240
賃貸不動産(純額)	1,615,706	1,624,016
その他	534,012	609,941
貸倒引当金	△14,850	△4,137
投資その他の資産合計	3,686,519	3,874,061
固定資産合計	6,892,318	6,996,845
資産合計	16,565,347	16,219,172
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,915,707	3,005,942
未払法人税等	314,936	32,381
賞与引当金	110,283	—
返品調整引当金	451,000	456,000
その他	653,627	837,252
流動負債合計	4,445,554	4,331,577
固定負債		
退職給付引当金	593,454	583,373
役員退職慰労引当金	149,009	186,676
資産除去債務	37,484	—
その他	92,454	82,818
固定負債合計	872,403	852,867
負債合計	5,317,957	5,184,444

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	3,728,982	3,418,203
自己株式	△337,417	△305,059
株主資本合計	11,173,420	10,894,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	73,969	139,729
評価・換算差額等合計	73,969	139,729
純資産合計	11,247,389	11,034,728
負債純資産合計	16,565,347	16,219,172

(2) 四半期損益計算書  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,150,387	13,326,538
売上原価	6,597,201	6,677,523
売上総利益	6,553,185	6,649,014
販売費及び一般管理費	5,757,466	5,801,019
営業利益	795,719	847,995
営業外収益		
受取利息	644	610
受取配当金	21,402	22,055
受取賃貸料	63,907	55,334
その他	20,396	37,228
営業外収益合計	106,352	115,228
営業外費用		
支払利息	1,353	—
賃貸費用	28,379	28,371
その他	11,607	7,763
営業外費用合計	41,340	36,134
経常利益	860,731	927,089
特別利益		
投資有価証券売却益	14,672	—
特別利益合計	14,672	—
特別損失		
固定資産除却損	1,034	20,980
災害による損失	—	17,271
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,520
特別損失合計	1,034	60,773
税引前四半期純利益	874,369	866,316
法人税、住民税及び事業税	6,323	308,132
法人税等調整額	264,095	81,034
法人税等合計	270,419	389,167
四半期純利益	603,949	477,148

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,446,664	4,480,481
売上原価	2,255,527	2,216,826
売上総利益	2,191,137	2,263,654
販売費及び一般管理費	1,952,054	1,918,009
営業利益	239,083	345,644
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	231	232
受取賃貸料	18,933	21,690
その他	6,353	16,468
営業外収益合計	25,531	38,405
営業外費用		
支払手数料	—	2,415
賃貸費用	10,744	8,309
その他	2,668	102
営業外費用合計	13,412	10,827
経常利益	251,202	373,223
特別損失		
固定資産除却損	1,034	—
災害による損失	—	516
特別損失合計	1,034	516
税引前四半期純利益	250,168	372,706
法人税、住民税及び事業税	816	200,966
法人税等調整額	98,239	△40,915
法人税等合計	99,056	160,050
四半期純利益	151,111	212,655

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	874,369	866,316
減価償却費	66,290	77,086
固定資産除却損	1,034	20,980
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	22,520
投資有価証券売却損益(△は益)	△14,672	—
受取利息及び受取配当金	△22,047	△22,666
支払利息	1,353	—
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△25,000	△5,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△333	14,341
賞与引当金の増減額(△は減少)	47,205	110,283
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,928	10,081
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	17,999	△37,667
売上債権の増減額(△は増加)	△509,056	△740,694
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△11,522
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,518	△287,166
前払費用の増減額(△は増加)	150,395	129,813
仕入債務の増減額(△は減少)	392,928	△90,235
未払金の増減額(△は減少)	△99,982	△133,501
未払消費税等の増減額(△は減少)	16,628	13,568
その他	47,312	△106,805
小計	922,835	△170,266
利息及び配当金の受取額	22,047	22,666
利息の支払額	△1,252	—
特別退職金の支払額	△117,890	—
法人税等の還付額	71,448	2,836
法人税等の支払額	△24,884	△16,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	872,303	△161,642
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△61,095	△11,796
投資有価証券の売却による収入	49,780	—
固定資産の取得による支出	△10,233	△103,387
固定資産の除却による支出	—	△4,817
貸付けによる支出	△15,962	△9,863
貸付金の回収による収入	12,322	10,253
敷金及び保証金の差入による支出	—	△18,411
敷金及び保証金の回収による収入	—	21,526
その他	△5,341	1,895
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,530	△114,600
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
配当金の支払額	△108,240	△161,428
自己株式の取得による支出	△574	△32,357
その他	△7,525	△9,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△416,340	△202,960

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	425,432	△479,203
現金及び現金同等物の期首残高	826,062	1,858,354
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,251,494	1,379,150

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。